

去る2月6日、1年生のティーチング・アシスタント(TA)の中から最も活躍した10名が表彰を受け、授業料一部免除の特典が与えられました。

また、卒業生のTA12名も卒業式で表彰を受け、三浦泰記念会より記念品が贈呈されました。

新2年生 関 彩香・村松 珠美・新垣 孝典 板垣 雄一・折戸 淳子・織畑 真 堀口 真鈴・山下 和恵・吉田 友輝 米内 千春

卒業生 秋吉 由香・篠原 学・白石 涼子 田中 大策・千村智佳子・飯田 誠 越後 直之・江村真由子・小笠原章洋 東海林美恵・菅原 勝利・永井 悠子



クラス担任

- 幼児教育科 科長 三澤 裕見子(文学) 副科長 三小田美穂子(音楽)
保育士コース 1年 諸井 泰子(ピアノ) 2年A 三小田美穂子(音楽) 2年B 杉本 信(心理学)
保育士・幼稚園教員コース 1年A 樽田 みづほ(舞踊表現) 1年B 山本 直樹(総合演習) 1年C 富岡 麻由子(教育学) 2年A 陸路 和佳(ピアノ) 2年B 桜井 剛(造形美術)

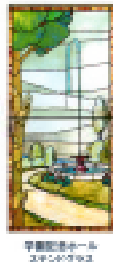
「幼児教育実践総合ゼミ」 担当: 諸井 泰子(ゼミ長) 菊池 カチ子 並木 真理子 富岡 麻由子 亀井 哲宏 石垣 香代

新任教員(4月1日付)

- 専任: 並木真理子(幼稚園実習:東京学芸大学大学院修) 富岡麻由子(教育学:東京学芸大学大学院修) 亀井 哲宏(障害児保育:東京学芸大学大学院修)
講師: 小川 教子(ピアノ:武蔵野音楽大学大学院修) 角田 玲奈(ピアノ:国立音楽大学卒・パリ・エコールノルマル音楽院修) 西脇 千花(ピアノ:東京芸術大学卒・インディアナ州立大学アーティストディプロマコース修) 宗像 啓子(ピアノ:国立音楽大学卒・フライブルグ州立音楽大学大学院修) 山本 瑛子(児童福祉:日本社会福祉大学大学院修・日本福祉教育専門学校講師)

退任教員(3月31日付)

専任: 太田 節子 山下マサミ 浦崎まり子



4月~6月の行事予定

Table with 2 columns: 1年生 and 2年生. Lists various school events, exams, and holidays from April to June.

行事予定は「追加・変更」になることがありますので、校内掲示等に注意してください

平成16年度 新1年生

- 幼児教育科 ・保育士コース 39名(内男子21名) ・保育士・幼稚園教員コース 146名(内男子57名) 計 185名(内男子78名)

学生傷害保険について

本校では、学生全員が入学時に学生傷害保険に入っています。学校管理下におけるケガや事故に対し、2年間保障されており、次の項目において適用されます。

ケガをした時、させた時は事務局まで連絡してください。

学生なんでも相談室

学生諸君の学生生活全般に関すること、また各自の個人的な悩みなどについても相談にのります。相談内容は相談者の不利益にならないよう取り扱います。

AO入試説明会開催:来年度入学希望者対象

4月24日(土)2時より、大ホールでAO入試の説明会を予定しています。入試についての説明のほか、実際にAO入試の面接や自己アピールの場を再現し、スクリーンに映し出すなど、より分かりやすい工夫がなされた説明会です。

平成15年度 卒業式式辞

学校長 小林 志郎

日本音楽学校および東京聖星社会福祉専門学校の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。心からお喜びを申し上げます。

また式典にご列席くださいました保護者や関係者の皆さんにも卒業を寿ぎ、喜びの言葉を申し上げます。

また来賓として、両校の同窓会会長さんがご臨席くださいました。同窓会のリーダーをお迎えしたことで、心の通い合う、暖かい卒業式を挙行することができました。大変うれしく、心から感謝申し上げます。

式次第を見てください。日本音楽学校は、明治36年に第1回の卒業生を送り出したときから数えて皆さんはちょうど100回目の卒業生になります。100回生、いい響きです。100回生のみなさん、こうお呼びすることで、みなさんの卒業に華を添えることができればこれほどうれしいことはありません。

東京聖星社会福祉専門学校の卒業生の皆さんは第4回生になります。まさに揺籃期の、血がふつふつと滾るようなキャンパスライフを生きた卒業生であり、これから母校の歴史を検証しつつ生きる楽しさがあります。

今日はひとつのエピソードを紹介しその意味を考えてみましょう。

日本音楽学校とオーストラリアのピンジャラ・チャイルド・ケア・センターが姉妹校または姉妹園であることはご存知でしょうか。本校の学生が海外研修で実習させていただくセンターです。学生たちは紙芝居、手遊び、歌とダンス、折り紙グループに分かれ、プレゼンテーションを行い、子どもたちを参加させ、エキサイティングな活動を展開します。

今年の学生は紙芝居として「花咲か爺さん」を上演することにしました。毎年、絵と文章ができると、ピンジャラへ送り、オーストラリアの子供にも分かる文章であるか、子供たちが興味を持つ内容か、文化的背景についての説明を加える必要があるか、などをチェックしてもらいます。今年も送りました。4時間後に返事が来ました。こう書いてありました。

「花咲かじいさん」のストーリーを読みました。悪いおじいさんが犬を殺してしまった事実は、子供たちにはあまりに悲しく、あまりに残酷なことです。ストーリーを変更できないでしょうか。たとえば悪いおじいさんが怒って犬に怒鳴りました。「出て行け。帰ってきたらただではおかないぞ。」そう言って、犬を追い払ってしまった。その夜、犬はこっそり優しいおじいさんの家に戻り、くわえて

きた骨をおじいさんの手に渡し、土に埋めるようにと書いて立ち去りました。おじいさんが骨を埋めると、たちまち大きな木になりました。罪のない犬を殺すことは子供たちは歓迎しないし、動物虐待に対して敏感である保護者たちは自分たちの子供に、犬を殺すピクチャー・ストーリー・ショーを見せてほしくないと思うことへの配慮からです。

私はエリザベス園長の意見を受けとめ、「花咲かじいさん」を少しリライトしました。その上で、オーストラリア人も日本の文化を学んでほしいと次のような解説を記しました。

日本人はこの残酷物語を異なる観点から解釈するのです。それは犬が桜の木に転生する、生まれ変わる、transmigrationトランスミグレーションするという考えに基づいたものです。犬の寿命は通常15年位といわれています。しかし桜の木ははるかに長い年月を生きていけることが出来ます。仁和寺(にんじ)の御室桜は樹齢1000年だと俗に言われています。

殺されたが子、またはシロは桜の木に転生し、しかもより長い年月を主人に仕え、一緒に過ごす道を与えられたのです。犬を虐待する負・マイナスのストーリーよりも、犬が転生し、長生きして養をつくす東洋的な正・プラスのストーリーを尊重するのが私たちの言語であり、文化であると考えられます。

エリザベス先生は、事件の裏に横たわる日本の生命観を理解してくれました。オーストラリアは実に多様な文化や言葉が存在する国であり、多様性の中でチャイルド・ケアをしなければなりません。文化のギャップは想像以上に広く、深いのです。異文化の中で育った子どもたちから、どのようなアクションが返ってくるか楽しみです。

さてもっと身近な文化について考えましょう。これから皆さんが働く園や施設には独自の文化があります。まずその文化をマスターすることです。早いには越したことはありませんが、焦ってもいいけません。学習の速度はみな異なるものです。

卒業式を迎えましたから、お話しします。即戦力となる学生がほしいとよく言われます。新卒の青年がすぐに活躍できるほど、保

育や教育は簡単ではないと思います。企業は効率主義を導入し、利潤の追求を第一位においています。教育という生業も利潤を度外視しては成り立ちませんが、企業の真似をして効率主義を導入したなら、学校はトレーニング・センターになってしまうでしょう。利潤を追求する企業の都合に教育を合わせてはいけません。

(次頁へ)

(前頁より)

すぐ役に立つ、そういう優秀な人も1000人に一人はいます。しかしすぐ役に立つ人ほど早く消耗してしまうことが少なくありません。いい教育者は2年、3年と時間をかけて成長するものです。スキルがあり、社会性があり、明るく、器用な人はどんどん成長していきます。自分がそういう人間だと感じたら用心することです。「風姿花伝書」の中で世阿弥が戒めるところの「つかの間の幽玄」、「一時の花」であり、直に飽きられてしまう運命にあるのです。

企業の理論に対抗できて、善意とわずかな才能をせっせと磨いてきた私たちにとって「かけがえのないもの」とは何でしょうか。それは、おそろく、いや、間違いない、あなたが持っている子供を愛する力、そのものです。

人間の成長を支援し、生涯にわたって人間としての尊厳のために戦い、幸せであるよう支援するのが教育であり、福祉であるなら根幹はみな愛でしょう。分け隔てることなく、手を差し延べ、いつも新鮮な愛を与え続けることが、私たち凡人が天才や効率主義に対抗できる唯一の戦略なのです。

等しく愛する。深く愛する。悲しくなるほどに愛する。

平成15年度 卒業式

3月4日(木)三浦記念ホールにおいて日本音楽学校・東京聖星社会福祉専門学校の合同卒業式が行われ、保育士コース71名、保育士・幼稚園教員コース103名、合計174名の卒業生が巣立って行きました。

- 卒業生代表として表彰された方を紹介します。
・答辞、優等賞 坂谷 充孝
・全国幼稚園教員養成機関連合会表彰 江村真由子
・全国保育士養成協議会表彰 白石 涼子
・児童厚生員養成課程連絡協議会表彰 長谷川 優子
・皆勤賞 白土 倫子 青木 理恵
・精勤賞 岡田 裕介 石田 敦紀

オーストラリア研修旅行より帰国

参加学生27名、校長先生を始め教員4名が3月13日成田を出発、シドニー、メルボルンに滞在し現地の姉妹校、姉妹園で学生や園児たちと交流し3月19日無事帰国しました。次号のキャンパスニュースで学生の体験談を掲載予定です。

TBS テレビドラマの撮影に協力

TBSテレビのドラマ日曜劇場「オレンジ・デイズ」の撮影が2月29日本校大ホールで行われました。放映は、4月18日(日)9時からの予定です。出演者は、柴崎コウ、妻夫木聡ほか、ぜひご覧ください。